

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育 つ て ほ い し い 児 童 の 姿	入学当初の児童の姿 ○勉強を楽しみにしている。ひらがなを書いたり読んだりできる。 ○たくさん遊びたいと思っている。 ○同じ保育園の友達がいない。友達ができるか不安。 ○友達との関わり方がうまくできない子もいる。 ・遊びを含め、学習面、生活面において何事にも積極的に取り組もうとしている。 ・先生や友達の話最後まで聞くことができる。 ・友達や先生と積極的に関わっている。 ・学校生活のきまりを知り、自分のことは自分でできている。 ・体験や活動の中で、自分が知っている言葉や数を積極的に使っている。 ・なぜ？どうして？と思うことを見付け、その課題に積極的に関わろうとしている。 ・課題に対して自分の考えをもったり、先生や友達の意見を最後まで聞いたりしている。 ・友達や先生だけでなく、年長児とも関わり、それぞれに応じた接し方ができている。 ・安心して学校生活を送り、自分の仕事に責任をもって取り組んでいる。 ・体験や活動の中で、不思議だと思ったことを口に出したり、既習事項を使ったりする。 ・課題を見付け、その課題について対話をしたり、調べたりしている。 ・友達と自分の考えを比べて聞いたり、伝えたりしている。 ・自分の成長を認め、お世話になった人に感謝の気持ちをもっている。 ・1年間の成長を振り返り、2年生への期待と目標をもっている。 ・新しい言葉や数に関心をもち、積極的に使おうとしている。 期待する児童の姿 主体的に自己を発揮しながら学びに向かう ○自分の思いを伝えたり、友達の考えを受け入れたりしながら、学習や生活できる。											
主 な 学 習 活 動	生「みんななかよし」(18H) ・新しい友達と遊んだり、上級生や先生たちと関わったりし、学校にいる人たちに親しみをもつ。 <u>国語</u>「おはなききたいな」「どうぞよろしく」 <u>図工</u>「どんどんかくのはたのしいな」「砂や土と仲良し」 <u>音楽</u>「歌って踊って仲良くなろう」 <u>道徳</u>「明るいあいさつ」 ・学校探検を通して、施設の場所や使い方を知り、場面に応じた行動について考える。 <u>国語</u>「かくことたのしいな」「なんて言おうかな」「こんなもの見つけたよ」 <u>書写</u>「字を書く姿勢」「鉛筆の持ち方」「手の動かし方」 <u>体育</u>「固定施設を使った運動遊び」 <u>道徳</u>「はりきり一年生」 生「なつとなかよし」(11H) ・夏の遊びを想起し、他教科と関連を図り、砂遊び、水遊び、シャボン玉遊びなどを友達と工夫しながら行う。 <u>国語</u>「こんなことがあったよ」「みんなにしらせよう」 <u>算数</u>「あわせていくつ」 <u>図工</u>「身の回りの音に耳を澄ませよう」 <u>図工</u>「すなやつちとなかよし」 <u>スルスルビューン</u> <u>体育</u>「みずあそび」 生「あきとあそぼう」(9H) ・秋の学習計画を自分たちで立て、秋見つけに行く。秋の自然に触れたり、自然物を採集したりして、工夫して遊ぶ。 <u>国語</u>「しらせたいなみせたいな」 <u>算数</u>「10よりおおきいかず」「たしざん」「ひきざん」 <u>図工</u>「いっばいつかってなにをしよう」「はこでつくったよ」 生「あきとなかよし」(19H) ・年長児を招待する、相手意識をもち、秋見つけで採集した自然物を使って、友達と協力して作品を作る。招待した人に思いやりをもって接する。 <u>国語</u>「言葉をたのしもう」「日づけよう日」「てがみでしらせよう」 <u>算数</u>「たしざん」「ひきざん」 <u>体育</u>「はしのうえのおおかみ」 生「ふゆとなかよし」(14H) ・身近にある冬を見付けたり、冬の自然状況を生かした遊びを工夫したりして、友達や異学年と遊ぶ。 <u>算数</u>「20より大きいかず」「なんじなんぶん」 <u>音楽</u>「にほんのうたをたのしもう」 <u>図工</u>「わくわくおはなしすごろく」 <u>道徳</u>「お正月」 ・身近な場所の植物や生き物の変化を見付け、春の訪れを感じる。 <u>国語</u>「もののなまえ」 <u>算数</u>「かずをせいりしよう」 <u>音楽</u>「うたってなかよし」 生「もうすぐ2年生」(9H) ・自分たちの成長を振り返ったり、お世話になった人に感謝の気持ちをもったりし、進級する喜びやこれからの成長に期待をもって生活する。来年の1年生に自分たちができることを考える。 <u>国語</u>「これはなんでしょう」「いいこといっぱい1年生」 <u>音楽</u>「みんなで合わせてたのしもう」 <u>体育</u>「ゲーム」 <u>道徳</u>「大すきだから」 <u>学活</u>「1年間を振り返って」 <u>児童会</u>「6年生を送る会」											
(人・もの・こと等) 環境構成	・学習に入る前に自由遊びの時間を確保し、園・所での生活と学校生活をスムーズにつなぐことができるようにする。 ・生活科を中心とした合科的な指導を行う。単元構成を工夫したり、15分単位で活動を変えたりするなど、集中力が途切れない授業づくりを行う。 ・給食や掃除は6年生と協力して行ったり、準備の仕方や片づけ方を可視化して掲示したりすることで、安心して学校生活を送ることができるようにする。											
園・所との連携	・幼稚園で行っていた手遊びや言葉遊びを教えてもらう。 ・4月の参観日には、それぞれの保育園や幼稚園の先生を招待し、頑張りを見てもらう。 ・運動会リハーサルへの招待											
組織との連携	・入学後児童の様子をもとに保護者と連携し、通級やクローバー、こども発達支援センター等の専門機関への相談をお知らせする。											

家庭との 連携	通年	宿題・時間割の確認の お願い （気持ちの良いスタ ートのために確認し てもらう。）	日々の様子の連絡 ・ 毎日の連絡ノートや 電話連絡で子どもの様 子について伝える。	学校の様子を伝える ・ 学校だよりや学年だよ りを通して、学校の取り 組みについて知らせる。	材料集めの協力依頼 ・ お家の人に向けて書いた文 章などにコメントをもらう。	規則正しい生活の呼びかけ 特に長期休みの前後に「早 寝・早起き・朝ごはん」を意 識してもらう。	1 年間の成長の報告 1 年間の子どもたちの成長を お知らせし、成長を感じてい ただくとともに2 年生への期 待を持っていただく
	子どもが話す宿題 （1 か月間は学校で の出来事を話す宿題 を出す。）						